

公開講演会

生殖をめぐる欲望と倫理と宗教

日時：2010年3月13日(土) 15:00-18:00

場所：石川四高記念文化交流館2F 多目的利用室5
(金沢市広坂2-2-5 tel. 076-262-5464 fax. 076-261-1609)

参加費：無 料

しまその
島 蘭

すすむ

進

(東京大学大学院人文社会系研究科教授・
グローバルCOE「死生学の展開と組織化」拠点リーダー)

「生殖補助医療は女性の幸福を増進するのか？」

プロフィール

1977年、東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。文学修士。筑波大学哲学・思想学系研究員、東京外国語大学外国語学部助手、講師、助教授、東京大学文学部助教授、教授を経て、1995年より現職。内閣府総合科学技術会議生命倫理専門調査会の専門委員の経験から『命の始まりの生命倫理-受精卵・クローン胚の作成・利用は認められるか』(春秋社)を出版。

あんどう やすのり

安藤泰至

(鳥取大学医学部准教授)

「生命操作システムにおける『見えざるもの』 —生殖技術を中心に—」

プロフィール

1983年 京都大学文学部哲学科卒業。

1987年 京都大学大学院文学研究科(宗教学専攻)博士後期課程中退。米子工業高専、鳥取大学医学部医学科医療システム学講座を経て、2000年より鳥取大学医学部保健学科基礎看護学講座助教授。専門は宗教学(宗教哲学・宗教心理学)および生命倫理。

懇親会(出席を希望される方は、予めお知らせください)

[主 催] 2009-2011年度 文部科学省(新学術領域)「女性に親和的なテクノロジーの探求と新しいヘルスケア・システムの創造」(代表 日比野由利)

[実行委員] 打出喜義(金沢大学医学部付属病院産科婦人科講師)
細見博志(金沢大学医薬保健研究域保健学系教授)

[連絡先] 金沢大学医薬保健研究域医学系 環境生態医学・公衆衛生学 (中村裕之教授研究室内)
日比野由利 tel. 076-265-2218 fax. 076-234-4233
e-mail. hibino@pub.m.kanazawa-u.ac.jp